

第4回西三河支部研修事業

～自社PR&調べて発表！西三河&支部忘年会～

日 時 令和7年11月14日(火) 15:00～17:00
場 所 岡崎市図書交流プラザ 301会議室
参 加 者 49名(33社)

西三河支部(石山勝範支部長)は、西三河支部独自の事業である「～自社PR&調べて発表！西三河&支部忘年会～」を開催しました。

司会・進行を務める新美紀善委員の開会の辞からスタートし、石山支部長からは「支部内の処理業者同士

でどのように繋がり、補完していくのか？その機会の提供として西三河支部が存在しており、これをより活性化させていくことが支部の役割です。」、小野俊之専務理事からは「西三河支部のこの研修事業は、他支部にはないユニークな事業で、新たなビジネスチャンスも生まれます。情報交換いただきながら、深い信頼関係を築いてください。」というあいさつがあった後、支部災害廃棄物委員会の村尾真人氏より、岡崎市との災害廃棄物仮置場設置・運営訓練の報告も行われました。

第1部の自社PR事業では、レンテック大敬株式会社(資材レンタル等)、株式会社アイセイ電設(建設業、処理施設向け設備)、株式会社カノン(がれき類のリサイクル業)、新英運輸株式会社(金属リサイクル等)、ホームックス株式会社(環境事業)の5社が、自社の強みや主力商材、過去の実績などをPRしました。支部内の他社がどのような廃棄物処理を得意としているのかを知ることで、自社で処理できない案件などを委託や紹介を通じて、支部全体でニーズや課題を解決できることに繋がり、排出事業者への総合的な処理提案が可能となります。



司会・進行
新美紀善委員



石山勝範支部長



小野俊之専務理事



支部災害廃棄物委員会
村尾真人氏

第2部では、「産業廃棄物処理業者のための化学基礎」をテーマに、株式会社ハヤブサ環境サービスの金井邦剛氏より講演が行われました。講演では、安定型品目と管理型品目の違い、焼却業者が塩素を嫌う理由、モノ・ジ・トリ・テトラの意味、電池の種類と組成、単位の取り扱いなどについてわかりやすく解説されました。最後にレアアースに関する説明が行われ、講演は締めくくられました。

研修後には西三河支部の忘年会が開催され、学びと親睦を深める機会となった本研修事業は、和やかな雰囲気の中に閉会しました。



開会あいさつをする渥美和男副支部長



(株)ハヤブサ環境サービス 金井邦剛氏が講習を行う様子